

世界史B 近現代 6, 1848年の諸革命

1, 二月革命

七月王政下----厳しい**制限選挙**。選挙権16万7千人=国民の0.6%。英国は4.6%。

⇒1848年2月、選挙法改正を求める集会⇒ギゾー首相(位1847~48)弾圧⇒パリで武装蜂起。二月革命

ルイ＝フィリップ退位 ラマルティエヌ❖a(1790～1869)を中心に臨時政府設立

共和政宣言⇒「第二()1」(1848～52)

┌ブルジョワを代表する自由主義者

└労働者を代表する社会主義者(ルイ＝ブランも政府に参画) の間の対立が深まる。

・男子()2選挙→4月の選挙で農民が自由主義派を支持 社会主義派は敗北

・これに失望したパリの労働者の()3蜂起⇒きびしく鎮圧、政府は保守化

・1848年 12月**大統領**(任期四年、再任不可)**選挙** ナポレオンの甥の**ルイ＝ナポレオン❖b**(1808～73)⇒当選。右派秩序党支援。

・1851年 議会と主流派秩序党(王党派、カトリック勢力)へのクーデタ⇒により独裁権を得る。共和派へも弾圧。

・1852年 人民投票⇒皇帝「**ナポレオン3世**」と称する⇒「第二()4」(1852～1870)

❖a---詩人(「瞑想詩集」など)、政治家、1848年臨時政府外務大臣。12月の大統領選挙でルイ・ナポレオンと争い破れる。

❖b---ナポレオン1世の弟の子。ドイツ語圏で育つ。イタリアではカルボナリに關係。7月王政打倒に失敗し亡命していた。

2, 二月革命の影響

イギリス ロンドン---4月チャーティストの大集会

イタリア 統一と改革をめざす**リソルジメント=イタリア()5運動❖c**が高揚

❖c---1848年1月シチリア、ナポリで反乱。3月ロンバルディアで蜂起し()6に共和国設立。ミラノに臨時政府、サメデーニャ軍もミラノ入城。一旦退却したオーストリア軍が侵攻し翌年再併合。独立派は公開処刑される。

サルデーニャ王国の王**カルロ＝アルベルト**(位1831~49)→統一のため[]7に宣戦

⇒**第一次イタリア独立戦争**(1848~49)---イタリア諸国連合が奥軍に**ノヴァーラの戦い**(1849)で敗北。アルベルト退位。

マッツィーニと「**青年イタリア**」⇒1849年に()8共和国❖dを樹立。憲法制定。

→教皇の要請を受けたルイ＝()9のフランス軍が鎮圧。

❖d---共和国軍をイタリア統一の三傑の一人**ガリバルディ**(1807~82)が率いる。2ヶ月の包囲戦後敗北。ガリバルディは亡命。

オーストリア帝国

・1848年ウィーンで()10革命 民衆が市内にバリケード→メッテルニヒはイギリスに亡命

11の民族をかかえる**帝国内**→各地に**国民主義**の動きが噴出

┌()11人のハンガリー❖eで**コシュート・ラヨシュ❖f**(1802~94)の蜂起

└()12人❖gの**パーメン=ボヘミア**で**パラツキー❖h**(1798~1876)が**スラヴ民族会議❖i**開催

❖e---ウラル語族の**マジヤール人**がA.D.1000年頃ハンガリー王国形成。中東欧の大国。13世紀モンゴル帝国襲来、14世紀から

オスマン帝国と争いながら、一時オーストリア大公国も支配。1526年モハーチの戦いで()13帝国に破

れ、オスマン領、ハプスブルグ領等に分断。

❖f---スロヴァキア出身。1847国会議員。二月革命に呼応して蜂起し独立を宣言。奥軍侵攻で亡命。

❖g---スラブ系民族。6世紀ボヘミアに定住。10世紀ボヘミア王国。11世紀ドイツ人の植民。14世紀ルクセンブルク家(独)支配。

1348年()14大学設立。16世紀からハプスブルク家支配。

❖h---チェコの歴史家、政治家。「**チェコ()15史**」を書き、民族再生運動を展開。「民族の父」

❖i---正式名「**聖()16委員会**」ボヘミアの自治権を一時獲得するが、オーストリア軍の介入で鎮圧され自治権

も失う。(16)はチェコのキリスト教化を進めた守護聖人=ヴァーツラフ1世(907~935)から。

皇帝**フェルディナント1世**(位1835~48)と次の**フランツ＝()17 1世❖j**(位1848~1916)

⇒ハンガリーに抑圧されていた()18人❖kの**ヨシップ・イェラチッチ❖l**(1801~59)にハンガリーやウィー

ンの革命を攻撃させる(クロアチアの**赤マント部隊**)

❖j---在位69年。「**新王権神授説**」を信奉し自由主義、国民主義を抑圧。王妃**エリザベト**(1837~98)はハンガリーに傾倒し

1867年ハンガリーに大幅な自治権を認めた**アウグスライヒ**を支えた。

❖k---()19半島北西部に居住する南スラブ人。9世紀**クロアチア王国**。カトリック信仰。15世紀後半から

オスマン帝国の支配。(ドゥブロヴニク=アドリア海の真珠=はオスマンに貢納し自治と交易で繁栄)18世紀末、

オスマン、ヴェネツィア、ハプスブルクによる三分割。1815年ハプスブルク領とし、()20南部に

併合。バルカン半島中西部の同系の()21人はビザンツ帝国の影響で正教を信仰。

❖l---1848年ハンガリーからの独立を目指し()22で開催された**クロアチア民族会議**でクロアチア総

督に。ハンガリー革命を鎮圧。クロアチアもハプスブルクの直接支配下に。

プロイセン王国

1848年 ベルリンで**三月革命**→市民が蜂起、軍隊と市街戦。国王、憲法制定を約す。

⇒12月()23憲法制定 自由主義内閣が成立。

1849年 ドイツ各地の自由主義者⇒「**統一と自由**」をかかげて()24**国民議会**

┌()25皇帝を統一ドイツの君主とする⇒**大ドイツ主義**

└オーストリアを除外して()26王を統一ドイツの君主とする⇒**小ドイツ主義**

→議会は紛糾→小ドイツ主義を決議

プロイセン王**フリードリヒ＝ヴィルヘルム4世**(位1840～61)に国王就任を要請

王→これを拒絶して国民議会を武力で解散

1848年⇒「諸国民の()27」「()28**体制解体**」→1848年は世界史の一つの転換点

┌民族独立や国民的統一により**国民国家**をめざす()29**主義**の動き

└独立・解放を願う者どうしが対立し殺しあう()30**問題**もまた生じる

従来の封建貴族と市民層との対立→**ブルジョワ**と**プロレタリア**の対立が表面化

マルクス・エンゲルス『()31**宣言**』1848年発表→この象徴。



ラマルティエヌ



ナポレオン3世



カルロ＝アルベルト



コシュート・ラヨシュ



パラツキー



東欧諸国



バルカン半島

- ・春 ・欽定 ・統一 ・普通 ・三月 ・六月 ・帝政 ・共産 ・国民 ・民族(2) ・共産党 ・共和政
- ・プラハ ・ローマ ・ザグレブ ・オスマン ・ウィーン ・チェック ・ヨーゼフ ・セルビア ・バルカン
- ・ハンガリー ・マジヤール ・プロイセン ・ナポレオン ・ヴァーツラフ ・クロアチア
- ・ヴェネツィア ・フランクフルト